

流通とS C・私の視点

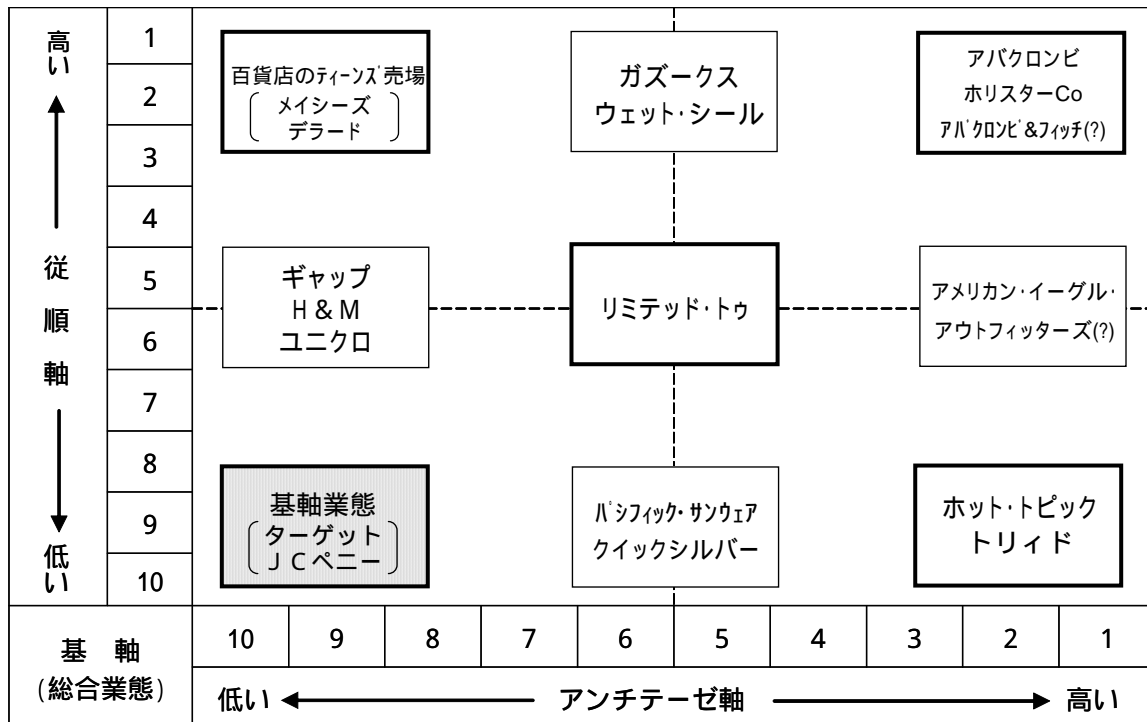
2007年6月24日

視点(787)

I Saw All America (その101) !!

アメリカのティーンズ・ファッション業界のカテゴリー分類

アメリカのティーンズ・ファッション業界を「従順軸」(親や社会に従順)と「アンチテーゼ軸」(親や社会への反発)マトリックスで分析すると次のようになります(六車流：流通理論)



ティーンズ・ファッション業態を「アンチテーゼ軸」と「従順軸」で分析する場合の基軸(本来の固有の特性を持っているティーンズ・ファッションの店)は、総合業態ではあるが「ターゲット」「J C ペニー」です。従順軸では、「百貨店のティーンズ・ファッション売場」が一番高く、次いで「ギャップ」「H & M」「ユニクロ」です。アンチテーゼ軸の一番高い店が「ホット・トピック」(ロックグループのTシャツやカジエツグッズを中心に品揃えで、オルタナティブ・ティーンの支持を得ている店)で、また、同じ会社のトリイド(肥満女性ジュニア向けの店)もあり、次いで「パシフィック・サンウェア」(サーフィン・テーマのティーンズの男女向けアパレルの店)と「クイックシルバー」(サーフィン、スケート、スノーボードウェアを中心としたスポーツウェア、スウィムウェア)です。

両方の中間として「リミテッド・トゥー」(7歳~14歳の女の子をターゲットとしたアパレル、シューズ、アクセサリ、トイレタリーの店。母親が買い与えるための店ではなく、女の子が自分自身で買物を楽しめる店)や「アバクロンビ」(中学生をターゲットとするティーンズ・ファッション)「ホリスターCo」(高校生をターゲットとするティーンズ・ファッション)、ややヤングになるが「アバクロンビ&フィッチ」(大学生をターゲットとするカレッジ・ファッション)があります。

さらに、「ガズークス」(ティーンズの男女向けのジーンズとTシャツのカジュアルウェアとアクセサリの店)と「ウェット・シール」(モノトーンな花柄模様の独特なデザインのジュニア・ファッション)の店があります。「アメリカン・イーグルス・アウトフィッターズ」も、20歳前後のカジュアル志向のカレッジ・ファッションですが、ティーンズ・ファッションに含めました。

(株)ダイナミックマーケティング社³
代表 六車 秀之